

普及現地情報
令和7年4月30日
久慈農業改良普及センター
記述者 佐々木 貴法

水稻新品種「白銀のひかり」の育苗巡回を実施しました

令和7年から本格栽培が開始される県オリジナル水稻品種「白銀のひかり」の育苗巡回を、JA 新いわて久慈営農経済センターと連携して令和7年4月23日（水）に実施しました。

久慈地域では約30経営体が「白銀のひかり」の作付けを予定しており、約40haの栽培面積となる見込みです。

普及センターからは、育苗期間中の気温がかなり高くなる見込みであることから、苗の徒長や細菌病の発生を防ぐため、ハウス開閉による温度管理を徹底するよう指導しました。また、「白銀のひかり」は管内の主要品種である「いわてっこ」に比べて葉色が淡く、草丈が長くなる傾向があるため、それらの特性もあわせて説明しました。

生産者からは、「白銀のひかり」について「催芽の段階で芽が出やすいと感じた」「確かに葉色が淡い」等の感想が寄せられ、他の品種との違いを理解した様子でした。

普及センターは、「白銀のひかり」をはじめ、水稻の高品質・安定生産に向けて生産者の活動を支援していきます。



育苗巡回の様子



「白銀のひかり」の苗
（立札手前側）